

科目名	環境科学 (Environmental Science)			科目コード	112
開講学科	看護学科・ 臨床検査学科	選択区分	選択	単位数 (時間)	2 単位 (30時間)
科目区分	共通教育科目	履修時期	1 年次後期	関連DP	看①⑤、臨①
担当教員	河野 公栄*				
授業概要	人間活動が地球的規模で大気、水、土壌などの環境諸相に多大な影響を及ぼしつつあることが指摘されて久しいが、今日では、地球環境問題はさらに複雑な様相を呈している。そこで我が国及び世界の環境問題の実相とその影響低減化の取り組みについて説明を行うとともに、さらに我が国の公害の歴史及び今日、世界で共有されている持続可能な開発 (Sustainable Development) の概念についても論ずる。				
授業目標	身近な環境問題から地球規模の種々の環境問題について、今日の問題の現状を把握し、それらの背景にある原因、さらに対応策について説明することができる。我々をとりまく環境の保全のあり方について自分の考えを培い、豊かな教養と人間性を涵養する。				

授業計画

回	項目	内容
1	公害と環境問題	公害対策基本法、環境基本法
2	公害の歴史 (1)	水俣病、イタイイタイ病
3	公害の歴史 (2)	国連人間環境会議、持続可能な開発
4	地球温暖化 (1)	気温上昇、温室効果ガス、
5	地球温暖化 (2)	I P C C、国際的な取組
6	オゾン層破壊 (1)	オゾン、フロンガス
7	オゾン層破壊 (2)	紫外線による皮膚がん、国際的な取組
8	酸性雨 (1)	水素イオン濃度、化石燃料
9	酸性雨 (2)	森林衰退、国際的な取組
10	土壌流亡と砂漠化	土壌侵食、塩類集積、国際的な取組
11	人工有機化合物による汚染 (1)	DDT、PCBs、ダイオキシン類
12	人工有機化合物による汚染 (2)	生態系、食物連鎖、生物濃縮
13	放射性核種による汚染 (1)	放射性核種、原子炉、核分裂
14	放射性核種による汚染 (2)	ウラン、放射性廃棄物、原子炉事故
15	問題解決への取り組み	国連環境計画(UNEP)、世界自然保護基金(WWF)
成績評価方法	レポートと定期試験	
教科書	授業時にコピー資料を配布する。	
参考図書等	本間慎「新版 データガイド地球環境」(青木書店) など	
授業時間外の学習について	授業の進捗に合わせて、配布プリントや関連図書などを用いて1時間程度の予習・復習を行って欲しい。	
関連科目	本科目は、生物学、化学、物理学に関連する内容を含むので、以下の科目を適宜、受講して基礎学力を高めて欲しい。 118 基礎科学 A、119 基礎科学 B、120 基礎科学 C 121 生物学(看護、臨床)、122 化学(看護、臨床)、123 物理学(看護、臨床)	
備考		